

「石井式・幼児からの漢字教育」これまでの歩み

- 61・03 朝日新聞紙上で、石井勲の四谷七小での漢字教育の實踐が紹介され、それ以降、これをめぐる議論が活発に
- 61・07 石井勲著『私の漢字教室』が刊行される
- 65・03 第七期国語審議会第五回総会において、吉田富三委員が「石井氏の主張について専門的な調査研究をするよう」提案
- 66・02 毎日新聞学芸欄に「独自の国語指導法 “石井方式” をみる」と題して取り上げられる
- 68・02 読売新聞紙上にて東京大学教授の宇野精一氏が「石井方式を採用せよ」と訴える
- 68・07 読売新聞が「幼稚園で漢字論争」と題して取り上げる
- 68・07 週間朝日誌上にて大野晋氏が「『漢字で教育』する幼稚園大阪市での新しい試みを見て」と題して調査報告の記事
- 68・09 朝日ジャーナル誌上で「ことば、幼児に対する漢字保育～幼稚園長研究会から」と題して取り上げられる
- 68・10 朝日新聞主催の講演会で石井勲が「漢字は才能を開発する」と題して講演
- 69・08 大阪の幼稚園八園が石井式漢字教育をはじめ
- 70・04 大東文化大学幼少教育研究所が設立され石井勲が所長に
- 72・06 アメリカ人間能力開発研究所所長グレン・ドーマン博士来日、石井勲との共同研究が企画される
- 73・04 石井教育研究所設立 石井勲が所長に
- 77・10 石井勲著「石井式漢字教育革命」が刊行される
- 81・01 朝日新聞の論壇において「漢字の効果的な教え方」として取り上げられる
- 81・04 朝日新聞(教育のひろば)紙上で「漢字教育 “幼児期こそ効

- 果、東京・青桐幼稚園の石井方式」と題して取り上げられる
- 81・09 朝日新聞の社説「漢字教育を根本から直せ」で石井式漢字教育のことが取り上げられる
- 83・10 『石井勲の漢字教室 全九巻』が刊行される
- 86・04 月曜評論に石井勲が「石井勲脳障害者治療に効果的な漢字教育」と題して投稿
- 87・04 「石井方式・幼児からの漢字教育」二十周年を迎える
- 88・07 新学習指導要領における漢字配当表で小学校で学ぶ漢字が一〇〇〇字を越す
- 89・03 石井勲が「幼児教育に画期的な石井式漢字教育の指導法を樹立した」ことが評価されて第三七回菊池寛賞を受賞
- 90・05 「第一回全国漢字かるた大会」が開催される
- 94・03 日本漢字教育振興協曾編『石井式漢字教育二十五年の歩み』が刊行される
- 94・04 国立国語研究所『常用漢字の習得と指導 付・分類学習漢字表』(東京書籍)で指導法として特に「石井方式・幼児の漢字教育」が取り上げられる
- 94・11 「第一回国際漢字学会」(ソウルにて)が開催され、幼児に対する漢字教育で目覚ましい成果をあげている国際的に著名な学者として石井勲が主催者より招請を受ける
- 97・04 石井勲著『〇歳から始める 脳内開発』が刊行される
- 98・11 「石井方式・幼児からの漢字教育三十周年記念講演会」が開催される
- 03・11 「石井方式・幼児からの漢字教育三十五周年記念講演会」が開催される 基調講演・藤原正彦氏。